

大阪府人事委員会、吉村知事に勧告 ボーナス年0.1月分、初任給1万4千円UP 月給与 民間より 4491円低いのに・・・ 30代後半～ 一律500円引き上げだけ??

府人事委員会勧告 ポイント
 ボーナス 0.1月分引き上げ(年4.40月⇒4.50月)
 再任用職員は0.05月分引き上げ
 月給与 民間より 4491円下回る
 若年層重点に引き上げを
 初任給 14000円引き上げ
 30歳代後半以降 一律500円UP
 実施時期 今年4月1日にさかのぼって実施

大阪府人事委員会は、十月十一日に知事と議会に対して民間企業の給与などを調査したうえで、府職員・教職員の待遇改善を勧告しました。国の国家公務員への勧告と歩調を合わせて、ボーナス、初任給の引き上げについて勧告しています。

しかし、30歳代後半以降の給与については一律500円とするなど、物価高騰の中での賃上げには程遠いものとなっています。知事はこの勧告を受けて、議会に実施案を示すことになりましたが、維新の会の人件費抑制策や万博・IRの費用高騰もあり、「府財政が厳しい」とさらなる条件引き下げの動きも考えられます。

生活実態・教員確保の 実態を無視した内容

府の勧告の主な内容は左上囲みにポイントを書いています。

府下の民間企業を調査した結果で、月給与平均で4491円民間より低いとしています。これを踏まえて初任給については14000円引き上げとしています。それ以外の層については

- ① 20歳台半ばまで
13000円から10400円までの範囲で引き上げ
- ② 20歳台後半～30歳台後半まで
9800円から6000円まで漸減させながら引き上げる
- ③ 30歳台後半以降
一律500円引き上げ

としています。

府の勧告で、30歳台後半以降の引き上げ幅を「一律500円」としている点については、「国家公務員との比較で、30歳後半以降の給与と表で府職員が上回っている」ことを根拠に挙げています。一方、新任については「人材確保の観点から」引き上げるとしています。

講師確保や代替教員確保で学校の教育活動の維持さえ困難になる中で、

全く矛盾した勧告といえます。

団体交渉で 職場・現場の声を届ける

「500円の賃上げではモチベーションが維持できない」

10月31日、交渉の場で中堅・ベテラン職員から不満や怒りの声がありました。

また、非常勤職員の無給の特別休暇を有給にすることや不登校の子どもをかかえる職員の「子の看護休暇」の拡充、家族休暇、リフレッシュ休暇の復活なども交渉で求めています。

組合加入し声を上げよう!

府当局との交渉を、全教豊中教組、大教組も加わる府労組連で進めていきます。

労使の交渉では、労働組合に結集する組合員、職場の教職員の声が大きな力になります。交渉では給与や一時金だけではなく、講師の待遇改善、長時間多忙化、教員不足問題の解決策など人間らしくやりがいを感じながら働ける労働条件の改善も対象になります。全教豊中教組に加わっていたとき、声を上げて、私たちの思いを実現していきましょう。

万博 建設費また増額、

2350億円 当初の1.9倍へ

万博、カジノ・IIRには膨大な税金投入

ガンブラ学校配布で企業宣伝？



25年開催予定の万博の建設費が、当初予算の1.9倍に当たる2350億円となると報道されました。府

国の税負担増が避けられなくなっています。今後さらなる世界情勢、経済情勢の変化で費用高騰も予断を許しません。参加国の計画、パビリオン建設も費用高騰、資材、人手不足でますます困難になっています。

わずか半年の開催期間後は撤去される万博施設です。それに多額の税金の投入をすすめ、開催前提で突き進む大阪府に疑問の声が、府民の中から上がってきています。

くらし、生活が大変です。府民のくらしを守り、経済を生活重視の中で持続可能な発展に結び付けていくためにも、万博、カジノ・IIRの計画を中止の判断をすることが必要ではないでしょうか。

税金20億円かけ府下の小 中高校生無料招待、

実際、各種世論調査では万博への関心が高まっています。万博協会（副会長の一人が吉村府知事）は入場者数の確保に躍起になっています。チケットも企業などへの割り当てを強めています。それも見通しが立たない中で、大阪府は府の予算を投入して府下の小中高生に「無料招待」による学校参加を進めようとしています。

招待される日が決められる（？指定）で、暑い時期の見学では熱中症の懸念の問題があります。バス運転手不足の中で交通手段はどうなるか、会場夢洲へのアクセス（メトロ1本、道路1本）でラッシュや渋滞は大丈夫なのか？
多くの課題があります。

ガンブラを学校で全員配布、 プラ枠回収！？ 学校が企業宣伝の下請け？

万博に向けて、バンダイ・ナムコが府下の小5・6年生全員に、ガンダムプラモデルを学校配布しています。バンダイの説明では、プラモデルの製造過程や、リサイクルを通したSDGsの学習につなげられるように、事前指導の動画や指導案もつけて送付されています。

学校での動画視聴や指導案などの事前指導は学校で実施するしないの判断ができます。しかし、「転売禁止」をするために、学校での開封を原則にしているため、組み立て、組み立て後のプラ枠の回収作業（色分けして）など、学校での負担や、授業時間、学習計画への影響も避けられません。市教委として一律に学校への取り組みを求めたりすることなく、学校で判断できるようにすべきです。

そんなお金があるのなら…… 少人数学級・教員増こそ

どこまで行くかわからない、万博建設費上振れ、そして、次々と府・大阪市の負担が増えています。カジノ・

IIR建設……。いったいどこまで府民のお金をつぎ込むのでしょうか。そんなお金があるのなら、少人数学級、正規教員採用増こそすぐにも取り組むべきです。講師の方々を含む教職員の待遇改善で、「教育に穴」があく事態の早急な改善が求められます。

万博会場・夢洲をめぐるさまざまな問題点

会場予定の夢洲はゴミ最終処分場で地盤が緩い。そのためパビリオン建設でも地盤沈下に対する特別な対策が必要です。土中から発生する有害ガスに対する対策、想定する入場者に対応する上下水道が整備できないのではないかとといった問題。こういった問題点が研究者やカジノ誘致に反対する市民団体から指摘されています。

